

排水施設補修作業の作業手順

準備工

内 容	留 意 事 項	危険性・有害性の洗い出し	重篤度	可能性の 割合	リスク 評価	優先度	リスク低減措置
・作業打合わせ(KY活動) ・作業位置の確認 ・作業人員の確認 ・使用機械、工具の点検 ・保護具の確認 ・埋設物の有無の確認 ・作業場所から石、コンクリート片等が落下しないよう飛散防止ネットの設置 ・作業箇所がのり面上部下部、BoxC上部などの落差がある場所での作業は落下防止網の設置を行う	・安全品質作業指示書による ・排水溝取付け場所の確認も行う ・作業分担、配置の確認 ・現場故障が無いように始業・終業点検の励行 ・安全靴・手袋等 ・通信管路図の確認(図面通りの施工か、現地にて確認) ・現場状況の事前の把握し飛散防止資材の準備 ・現場状況の事前の把握し転落防止資材の準備	・図面と現地との不整合 ・石、コンクリート片が一般道に落下し第三者被害が発生する ・転落落下しケガをする					
			3	2	5	Ⅲ	・現地と図面を照し合わせる
			2	2	4	Ⅱ	・飛散防止ネットの設置
			4	2	6	Ⅳ	・転落防止網の設置、安全帯の使用
・補修・改良作業箇所に草木がある場合は ・仮払機・チェーンソー・ノコギリにて切断する ※草刈の作業手順書(規制なし)参照	・周辺作業員へ声を掛ける ・有資格者による仮払機・チェーンソー作業	・仮払機でケガをする ・チェーンソーでケガをする	3	2	5	Ⅲ	刈手と寄せての離隔を5m以上とる
			3	2	5	Ⅲ	・有資格者の運転
			4	1	5	Ⅲ	・保護メガネ、スネガードの着用
・BH(コンクリートブレーカー)を使用してコンクリート構造物を取り壊す	・有資格者が運転する。 ・BH旋回範囲内は立入禁止とする。	・無資格者が運転し事故が起きる ・コンクリート片が飛散しケガをする ・旋回範囲内に立入り接触事故が起きる	4	2	6	Ⅳ	・BH有資格者の運転
			2	2	4	Ⅱ	・飛散防止ネットの設置
			4	2	6	Ⅳ	・声掛け、旋回範囲内をラバコンで囲う
・撤去したコンクリートをBHを使用し運搬車両へ積み込む ・適宜処理施設へ運搬し適切に処分する	・積み込みの際、手を挟んだり、落下させて足を負傷しないようにする。施工性を損なわない範囲で小さめに破碎してBHを使用してダンブトラックに積み込む。	・手足はさまれ ・無資格者が運転し事故が起きる ・旋回範囲内に立入り接触事故が起きる	2	2	4	Ⅱ	・荷の下ろし先の状況確認
			4	2	6	Ⅳ	・BH有資格者の運転
			4	2	6	Ⅳ	・声掛け、旋回範囲内をラバコンで囲う
・洗掘箇所に埋戻材(山ズリ・砕石等)を充填する (1層300mmを基本とし300mm以下で巻き出して転圧をおこなう) ・BHを使用して埋戻す際は、所定の高さまで埋戻しを行う	・転圧機(プレート・ランマ)で転圧する ・BH旋回範囲内は立入禁止とする	・転圧機でケガをする ・無資格者が運転し事故が起きる ・旋回範囲内に立入り接触事故が起きる	3	2	5	Ⅲ	・二名で転圧作業を行う
			4	2	6	Ⅳ	・BH有資格者の運転
			4	2	6	Ⅳ	・声掛け、旋回範囲内をラバコンで囲う
・現場周辺の清掃・片付け	・責任者による片付け完了の確認						

事前伐採・草刈

コンクリート構造物取壊し

コンクリート片処分場運搬

のり面埋戻し

片付け

注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・埋設物の有無を事前に確認し、現地でも図面を確認し埋設鉄などがないか確認を行う ・法面等で排水溝の設置が困難な場合は事前に報告し施工方法の協議を行う ・石、コンクリート片などが飛散しないよう、飛散防止ネット等の設置を行うこと ・高低差のある場所の施工は上下作業を行はなるとともに転落防止処置を講じること ・重機(BH)は無資格者の運転を禁止とし、有資格者が運転をおこなうこと ・重機(BH)を車両から降ろす、積み際は有資格者で、熟練者が行うこと ・重機(BH)を使用した作業は、単独作業はおこなわない ・クレーン車の操作は有資格者がおこなうこと ・吊り荷の下には入らないことと、吊り荷には解釈ローブを取付け、吊り荷を安定した状況で所定な箇所まで誘導すること ・一般車最優先で必要に応じ交通監視員を配置 ・無断で民地へ立ち寄らない
------	--